

## (様式1-表)

## 令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	42	豊田市立 済水小 学校	代表	朱山 純子
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	共感・共生する心を育み、生き方を学ぶ体験的活動 サブテーマ～異学年・豊田特別支援学校・地域の方との交流活動を中心～	分野 <small>i(その他)は分野を右欄に記入</small>	f 交流体験
学校づくりの視点へねら	互いの個性や違いを認め合い高め合う人間関係づくりを目指し、その実現のために、心の教育と交流活動の充実を図る。 全校で縦割り(わくわく)班を編制し、異年齢集団での交流を通して、共に助け合い学び合う人間関係作りに努める。また、学区にある豊田特別支援学校と交流し、障がいのある友達を正しく理解していく中で共生の心を培う。さらに、地域の方との交流を通して、地域の協力や様々な生き方について気付く目を育てる。 これらの活動を支える基盤として、子どもが安心して自分らしさを發揮できる学校を目指す。そのために、相談活動や校内の環境整備を充実させる。		
活動内容・計画	○豊田特別支援学校との交流(にここ交流) 全学年が、年間1～2回、6年間を通じて、豊田特別支援学校の同学年の児童と継続して交流する。 ○縦割り異学年交流(わくわく班活動) 1年を通じての縦割り遊びや清掃、年度末の6年生を送る会を行う。 ○地域の方との交流 生活科や総合的な学習の時間、読み聞かせやクラブ等で、地域の方に教わったり一緒に活動したりする。 ○相談活動の充実 ・「せんせいといないしょのはなし」→学習用タブレットを活用した、周りに知られずいつでも相談したい気持ちを伝えられる仕組みの活用。 ・教育相談「あのねタイム」→前期・後期の2回、学級担任が児童との個別面談を行う。 ・はあとラウンジスタッフによる相談活動 →「あのねルーム」で遊びながら相談員と交流したり、相談の予約をして話を聞いてもらったりできる。 ・校内はあとラウンジ「はあとルーム」→不登校児童の居場所として、はあとラウンジスタッフを中心に毎日開設。 ・学生ボランティアの活用 →個別の支援が必要な児童の見守りを充実させ、児童が落ち着いた学校生活を送れるようにサポートする。 ○校内環境整備 ・校舎内外の安全な環境を整える。 ・花のある美しく気持ちの良い環境をつくる。 ・清潔な環境をつくる。 ・落ち着いて本に触れられる環境を整える。 ・季節感ある環境をつくる。 ・心や体の健康への関心を育む環境をつくる。		
補助員配置	・校内整備員		
実績・期待される効果	○豊田特別支援学校との交流(にここ交流) 学年の発達段階に応じて、障がいを知ったり正しく理解したりして、6年間を通して共に生きる思いを深める。 ○縦割り異学年交流(わくわく班活動) 高学年は下級生のために工夫して活動し、人を支える充実感や喜びを知る。下級生は上級生の知恵や優しさに気付き、感謝の気持ちと憧れをもつ。 ○地域の方との交流 地域の方の知恵や思いに触れることで、地域のつながりに気付き、地域への愛着をもつ。 ○相談活動の充実 様々な相談方法が確保され、子どもたちが安心して登校できる。 ○校内環境整備		
検証方法	・交流活動の振り返りから、共感・共生する心や、より良い生き方について考えた記述がみられるか。 ・様々な相談方法が子どもたちに活用されているか。 ・「安全・美しさ・交流・健康」の観点から、環境整備が進んでいる。		